

1982瀬田貞二／落穂ひろい、福音館書店

1971-1975雑誌／母の友に連載

日本の子どもの文化をめぐる人びと

第八章 おもちゃ絵 (p.1)

一 おもちゃ絵のことども

- ・おもちゃ絵の成りたち (p.31)
- ・子どもを楽しませるかずかずの工夫 (p.34)
- ・日清戦争を花に姿を消す (p.38)

アニリン染料 *実は、「カーマイン」(コチニール、燕脂虫) また「ラック」貝殻虫

二 おもちゃ絵との出あい

- ・滅びた木版おもちゃ絵 (p.41)
- ・おもちゃ芳藤との出あい (p.42)
- ・おもちゃ絵の描き手たち (p.46)

1670s (延宝) 狐の嫁入り *林若樹・所蔵

1760s (明和) 清経、紅摺、組上げ燈籠／忠臣藏九段目山科の段

1780s (天明) 清長／(子供、組上げ燈籠を仕上げて喜ぶ) *清長の組上げは未見

1800s (享和) 北齋(ほくさゐ)／組上げ、浮世風呂内外の図(5枚組)、京清水花見の図(2枚組)

1800s (享和) 政美(まさよし)のおもちゃ絵、未見

1810s (文化) 豊久、

1810s (文化) 國長／組上げ燈籠／歌舞伎町_8-10枚続き

1840s (天保) 廣重、廣重2(重宣)、英泉

1850s (嘉永) 國芳／ほうづきづくし、たぬきのたわむれ

1860s (慶応) 芳藤／(おもちゃ芳藤)

第九章 明治 (1) (p.49)

一 明治のはじめに (p.51)

山本笑月／明治世相百話

篠田鈺三／明治百話

平出鏗二郎／東京風俗志 *こうじろう

石井研堂／明治事物起原

二 清水卯三郎と飯島虚心 (p.52) 清水卯三郎 (1829-1910)

1867パリ万博 *徳川昭武一行、卯三郎は、三人の藝者を連れていく

1874 (明治7) ものわりのはしご *化学の手引き、平仮名、分かちがき 英人の農学、実験科学の翻訳

・進取の商人 (p.52) *ひらかな論に徹した

・つましい教育者 (p.56)

1875 (明治8) 洋々社、不忍池 *毎月、文部省に集まる学者

1876 (明治9) 幼稚園 (おさなごのその)

1876-1877 (明治9-10) 関信三 (訳) /幼稚園記 *両親、教師のための幼稚園の実用ガイド

1879c (明治12頃) 木曾沿革史

1881 (明治14) 初学三林書

1885 (明治18) 飯島半十郎 (1841-1901) /幼稚園初歩 *実物教育の重要性 *山林殖産

1891 (明治24) 國鶴 /幼稚園用切紙 *虚心が幼稚園教育にとりいれた。

1893 (明治26) 浮世絵師便覧、小林文七

1893 (明治26) 葛飾北齋伝、小林文七

1893 (明治26頃) 浮世絵年表 (稿本)

1894 (明治27) 歌川列伝 *玉林 (編)

1897c (明治30頃) 河鍋曉齋伝

1899 (明治32) 日本絵類考

三 教育錦絵 (p.71)

・教科書の誕生 (p.71) *アメリカのウィルソン・リーダー

1870-1872 (明治3-5) 智慧の環 (わ) *古川正雄 (福沢塾の塾頭)

1871 (明治4) ちゑのいとぐち 口語ひらがな分かち書き

1871 (明治4) 初代文部卿・大木喬任

1873 (明治6) 小学読本、小学入門 *神は天地の主宰にして、人は万物の霊なり。

・博物局の教育錦絵 (p.74)

田中芳男 (1838-1915) 洋学者 博物図鑑

1871 (明治4) 田中芳男/泰西訓蒙圖解 *挿絵は中島仰山 教え草一覽圖

・文部省の教育錦絵 (p.78) *ウィーン博覧

中島仰山 (1832-1914) (画) *一覽物を分担して描いた 動物学 写真撮影の先駆者

・民間の追求 (p.80)

一隴齋國輝2 (1830-1874) (45) *くにてる *おもちゃ絵の新しい教材的な展開

1873 (明治6) 幾丸/新板単語図解 森本版

1874 (明治7) 五十音 (人物づくし) 木宗版 遊びココロがある ア (あじさい) イ (いかり) ...

当時の文部省は、教育の面での民間との接触を積極的に行った

探景 (1863-1889) 遊戯圖、体操圖

四 明治の絵手本 (p.86)

・図画の最初の教科書 (p.86)

1873 (明治6) 山岡成章 (画) /小学画学書 洋風描写によるコメニウス*的訓蒙百科図鑑

*コメニウス (1592-1670) チェコの言語、教育 百科全書への試み

1631コメニウス/ラテン語教科書/語学入門

1657コメニウス/大教授学

1658コメニウス/世界図絵Orbis pictus 身分、階級を問わず、すべての人々に教える。

1874 (明治8) 宮本三平/画学本

1877 (明治11) 宮本三平/小学普通画学本 *石版

・近代洋画・源頭*の人 (p.90) *源頭? 意味不明

川上冬崖 (1827-1881) 蕃書調所・画学局 軍事、土木

1857ロベルト・スコットボルン／西画指南 *石版を木版に焼き直した

1873 (明治6) 石版機で最初の石版画 *明治7、石版画の試作 木版を石版刷りにした

1874 (明治7) 川上寛 (冬崖) /写景法範/陸軍文庫本 *日本で最初の石版画

・初期の石版挿絵本 (p.91)

1870 (明治3) 内田正雄/輿地誌略/大学南校 *よち 諭吉の啓蒙書と並んで、ベストセラー

1875 (明治8) 永峰秀樹 (1848-1927) /暴夜 (あらびあ) 物語 *最初の石版挿絵 (民間)

・ふたたび絵手本二、三 (p.94)

松川半山 (1818-1882) *何でも屋 川柳挿絵、名所画本

1874 (明治7) 松川半山/西画早学

1883 (明治16) 亀井至一 (1843-1905) /矢野龍溪/経国美談 前後2冊 *石版の名作

1885 (明治18) A (浅井忠) /小学集画帖 石版印刷 洋風写生

河北道介 (1850-1907) 砂目石版

1886 (明治19) 鉛筆画独学、成城学校出版

1886 (明治19) 清親 (画) /ロビダー (著) /第二世紀 全3 *石版の名作 (雁註) 清親?

1886 (明治19) 岡村政子 (画) /アイバンホー (梅蕃余薫) 全2、春陽堂 *石版の名作

1888 (明治21) 岡村政子 (1858-1936) /新撰画学入門 全8?、信陽堂 *生气、稚気

工部美術学校に入学した

・余言 (p.98)

1882 (明治15) 大成普通画学本 *石版の絵手本

五 挿絵本のあれこれ (p.99)

・挿絵本の先駆 (p.99)

菊池容齋 (1788-1878) 和式

川上冬崖 (1827-1881) 洋式

1843-1868 (天保14-明治1) 菊池容齋/前賢故実、全10 *復古派の源流 歴史上の500余人

1881 (明治14) 松本楓湖 (画) 元田永孚 (著) / 幼学綱要、全7。71図

1889-1916 (明治22-大正5) 松本楓湖 / 風俗画報、東陽堂 全518冊 (27年間、特別号を含む)

1891 (明治24) 松本楓湖 (画) / 日本歴史画報

・関西の画家たち (p.100)

長谷川貞信 (1809-1879) / 西洋画引節用集 *貞信は立版古 (たてばんこ) の名手

中井芳瀧 (1839-1899) 芳瀧の養子・川崎巨泉 巨泉は玩具の収集、研究で名高い

長谷川小信 (1848-1940) 二代貞信 合羽 (かっぱ) 版 細版おもちゃ絵 子供に直接、働きかける

・江戸の余波はここまで (p.103)

1880-1881 (明治13.14) 國政、幾英 (画) / 浦島、花咲、文福、かちかち山、金太郎、桃太郎、猿蟹、舌切雀、鼠の嫁入り

*明治20年代 刷りは悪い 明治20を境として、整版木版は消えていく *銅版、石版、ジंक版、写真版が急進した

・ちりめん本の出現 (p.105)

長谷川武次郎 (1853-1890s) ・弘文社 外国土産 (英文、独文) として、ちりめん紙和本

小林永濯 (1843-1890) / 子供遊四季風俗、東陽堂

・長谷川本の前後 (p.107)

1891 (明治24) 巖谷小波* (1870-1933) / こかぬ丸 *さざなみ ドイツに留学

1894 (明治27) 巖谷小波 / 日本昔噺二十四編 *その後、英訳され世界に広がる

六 幻燈と三つの翻訳 (p.111)

・幻燈前史 (p.111) 写し絵

・幻燈の登場 (p.113) 明治13、和製幻燈機を制作

1880 (明治13) 後藤牧太 (講述) / 幻冬写影抗議 (うつしゑのはなし)

1886 (明治19) 鶴淵初蔵 / 幻燈図解

1901 (明治34) 池田都築 / 幻燈映画説明書 *明治末、活動写真 (映画)

・習俗の記録図 (p.114)

1885 (明治18) 岡本昆石 (1852-1927) / 吾妻余波 (あづまなごり) *永濯 (画) *えいたく

庄巻は… 男の子の遊び : 36種 女の子の遊び : 16種 両者共通 : 60種

・二つの「狼と七ひきの子山羊」 (p.117)

1887 (明治20) 呉 文聡* (1852-1918) /ハツ山羊 *統計学 *くれあやとし

1889 (明治22) 上田萬年* (1867-1937) /おほかみ 言文一致の分かりやすい文章 *グリム童話 *かずとし

*ドイツ、フランスに留学。言語学の方法で国語学を樹立した。これまで、ローマ字論者でも漢文調で分かり難い

1908 (明治40) 上田萬年 (1867-1937) /新訳伊蘇普物語

1911 (明治44) 上田萬年 (1867-1937) /安得仙家庭物語 *アンデルセン

・ブッシュの初上陸 (p.118) *ドイツの風刺詩人、漫画家 1865マクスとモーリツ

1889 (明治22) 腕白物語 *冒頭二編 (マクスとモーリツ、七編)

1891 (明治24) 巖谷小波 (さざなみ) が出現して、児童文学を普及させた。

1888 (明治21) 小柳津要人* (1844-1922) (訳) /腕白物語 (2) *おやいづ かなめ (後、丸善の専務) 中浜万次郎に師事

七 石井研堂 (1865-1943) (p.122)

・雑誌の台頭 (p.122)

宮武外骨 (1867-1955)、明治期の新聞雑誌を収集 *亀四郎

1888 (明治21) 山県悌三郎/少年園 *イギリスのリトルフ・オークス

1889 (明治22) 石井研堂/小国民 *アメリカのハーパー社のヤング・ピープル

*小口版、板目版、石版、網版 *清親、桂舟、永洗、永興、金楸、文吾、鞆音、国観、竹坡、広業

1889 (明治22) 十日間世界一周、動物會

1893 (明治26) 少年博物志、12冊 *先端の写真銅板、写真亜鉛版

1895 (明治28) 網版三色摺、牛莊市街戦

1899 (明治32) 舌禍で、少国民と改めた (明治28) 再出発したが、研堂は退く

・小国民の内容 (p.124) *研堂が熱心誠意、少国民のために働いた。清親が表紙と口絵を描いた。

中川霞城/学校家庭遊戯全書 *ドイツ人ワグネルの原著

・石井研堂 (1865-1943) という人 (p.128)

1892-1893 (明治25-26) 日本漂流譚、二冊

1893 (明治26) 鯨幾太郎 *古堀鞆音 (ともね) (画)

1894 (明治27) 少年博物誌

1895 (明治28) 手旗信号を載せて、軍から告発された

1901 (明治34) 今世少年

1901 (明治34) 理科十二ヶ月、博文館 *博識、实际的知識

1902 (明治35) 少年工芸文庫、24冊

1908-1944 (明治41-昭和19) 明治事物起原

1911 (明治44) 日本全国国民童話 *佐々木喜善、柳田國男以前

1913 (大正2) 少年実験工芸百種

1913 (大正2) 営業開始案内 *商売、事務の手引き、実証的 プラクティカルガイド

1920 (大正9) 錦絵の改印の考証

1920 (大正9) 地本錦絵問屋譜

八 明治の小学校 (p.134)

・初期の小学生たち (p.134) 改正小学教授方法 石盤 (黒いなめらかな薄い石) 石筆で書く

女子、十六、十七歳で袴を着けず学校へ通っていた。男の子、屋敷の子は兵児 (へこ) 帯。商家の子、大抵、角帯。

・新教科書の登場 (p.137) 掛図

尺 (せき) 秀三郎 / 小学読本

湯本武比古 / 読書 (よみかき) 入門 *森有礼・文部大臣 官邸まで「夕飯を食べに来い」 (ご機嫌の良い時)

・民間の教科書 (p.142)

森有礼 / 教科書検定制 これ以前は認可制 ひとたび教科書が国定化されれば、国是の宣揚に利用されるのが落ち。

(清方談) 三大家、桂舟 (1861-1943)、永洗 (1864-1905)、年方 (1866-1908) *掛け図

1893 (明治26) 清親 / 日本修身書入門掲図

(明治27) 尋常国語読本、金港堂

(明治29) 小学読本、金港堂

(明治33) 国語読本、富山房 *坪内雄藏 (著)、実際は杉谷代水 杉谷は児童文学を紹介

九 明治の子ども (p.146)

・民間暦、子どもの日 (p.146)

(東京) 二月初午* (はつむま) お稲荷さんから太鼓の音 *子供の自由に出来た日

(京都) お地藏さまの堂内 1968 (昭和43) 松田道雄/京の町かどから 供養の時に御供えを配られた

(関東中部) 道祖神 (さえのかみ)

弘法袋 (こんぶくろ) : 弘法 (大師) 、地藏、稲荷、天神、 *保護薄い子らの保護者

旧十一月二十三日*の深夜、子供のために、家の軒、厩 (むまや) などに袋を吊るして、玩具、菓子を入れておいた。(木曾福島・新開村) *
新暦ではクリスマスにあたる。

・続腕白伝 (p.148) 淡島寒月 (1859-1926)

1936 (昭和11) 山本笑月 (1873-1936) /明治世相百話 *長谷川如是閑の兄 大野静方は末弟

・浅草の子どもたち (p.150)

・孤児の群の父たち (p.152)

1872 (明治5頃) 鈴木信教 (1841-1891) 郡山の太師の住職、孤児貧子を引き取る

*横山源之助/日本の下層社会 *明治初期、変動が凄まじい

1869-1886 (明治2-明治19) 瓜生岩子 (1829-1897) *孤児救済、愛育園

1887-1890 (明治20-明治23) 石井十次 (1865-1914) *孤児院の創立者 (宮崎県日向茶臼原)

*明治23、濃尾大辰齋、161名の孤児を引き受けた

留岡幸助 (1864-1934) 家庭学校 (茅ヶ崎、北見)

・親の身の嘆き (p.155)

松田道雄/京の町かどから *平井先生に畏敬をこめて述べている。

平井毓 (いく) 太郎 エルビン・ベルツ (1849-1913) の弟子となる ベルツの日記、上下

(ベルツ) 大名の子、極度に愚劣な甘やかして育てられている

ベルツの日記: 長女うた、3歳、腹膜炎で死ぬ 「かわいいウタがなくなりました…」

第十章 明治 (2) (p.177)

一 小波* (さぎなみ) の登場 *お伽のおじさん

・小波の登場

1891 (明治24) 巖谷小波 (1870-1933) /こがね丸/少年文学、博文館 子供のために、語り上手な作品

・小波のかげに

(明治24) 大矢透 (1850-1928) /わづかのこらへ *昔話の再話 *ただとる山のほととぎす

(明治30) 若松賤子 (1864-1896) (訳) 小公子

巖本善治 (1863-1942) 妻・嘉志子 (賤子) の夭折で、閉塞した

二 玩具ずきのおとなたち

・玩具を愛した人々

・笑語老博士

三 露伴 (1867-1947)の少年文学と文禄堂の滑稽本

・幸田露伴の少年文学

1890-1891 (明治23-24) 露伴/二宮尊徳翁、博文館 少年文学 伝記、史伝文学の先駆け

1892 (明治25) 露伴/宝の藏、 仏典の寓話を自由自在に選ぶ

1893 (明治26) 露伴/印度の古き話

1894 (明治27?) 露伴/真西遊記 永洗 (画)

1897 (明治30) 露伴/休暇伝 ほかに、会談篇 対話体 *少年たちの礼讓と友誼

1898 (明治31) 露伴/文明の庫、少国民 (石井研堂)

1911 (明治44) 露伴/番茶会談

・文禄堂の滑稽本 笑噺 *樽正 (くれまさ) 町の紅屋? (谷崎談)、質屋? 老舗

1888 (明治21) 京の藁兵衛/一分線香 笑話の雑誌

1889-1890 (明治22-23) 京の藁兵衛/滑稽五大噺 是真 (画) 滑稽もの

1899 (明治32) 京の藁兵衛/滑稽類纂 笑話の選集

四 唱歌・絵雑誌・組上燈籠 (くみあげ とうろう)

・唱歌と遊戯

1881-1884 (明治14-17) 小学唱歌集、三冊、文部省

1901 (明治34) 日本全国児童遊戯法、三巻、博文館

1902 (明治35) 平出鏗二郎* / 東京風俗志、富山房 *こうじろう 藤岡作太郎の友人

1906 (明治39) 滝廉太郎 (曲) / 幼稚園唱歌、共益商社 *廉太郎 (1879-1903)

・絵雑誌のはじまり 見る (グラフィック) 雑誌 そして絵本

1894-1895 (明治27-28) 網目写真版が登場

1905-1906 (明治38-39) 色刷り 戦争の報道 石版から亜鉛版

1906 (明治39) 幼年画報、博文館

・舞台の夢 *歌舞伎舞台 高根宏浩談

1885 (明治18以降) 組上燈籠* (くみあげとうろう) 絵が盛ん *切り抜き

1894-1895 (明治27-28) 日清戦争の錦絵

1904-1905 (明治37-38) 日露戦争の錦絵

1971 (昭和46) 高根宏浩 / 組上燈籠考

五 チェンバレン (1850-1935) とハーン (1850-1904) ・小波その後

・二人の知日派文人

1871 (明治4) ミットフオード / 昔の日本の物語

1890 (明治23) チェンバレン / 日本事物誌 フェアリーがなくて、ゴブリンとデビル

アイヌ語、琉球語の先鞭をつけた

狐、猫、狸が悪事を働く超自然力をもつ ヨーロッパにない

ハーン、アメリカでチェンバレンの古事記を読んだ

童唄を何百と集めた、ハーンは詩人 *ちりめん本

・小波* (1870-1933) 外遊の前後 *さざなみ

1898 (明治31) 小波 / 日本昔噺、24冊

1898 (明治31) 小波 / 日本お伽噺、24冊

1899-1908 (明治32-41) 小波 / 世界お伽噺、100冊 *大話、法螺ばなし

1900 (明治33) 小波 / 世界お伽文庫、50冊 *明治33-35、ベルリン大学で教鞭をとる

・追隨する二シリーズ

1902 (明治35) 少年世界文学、16冊、早稲田

1907-1910 (明治40-43) 家庭お伽話、50冊、春陽堂 吉岡郷甫 (外国篇)、高野辰之 (日本篇)

・文部省の仕事

民謡の全国採集 *高野斑山 (はんざん)

1914 (大正3) 俚謡集、文部省文芸委員会 *童唄

1915 (大正4) 俚謡集拾遺、文部省文芸委員会

・明治のおわり

1908-1909 (明治41-42) お伽画帖、25冊 *幼年画報

1911-1915 (明治44-大正4) 日本一ノ画噺、35冊 *堅表紙の洋装本

何か御気付きの点があれば御教示ください。酒井 雁高 (かみこう) 浮世絵・酒井好古堂主人、学芸員 curator 浮世絵・酒井好古堂 浮世絵鑑定家 [浮世絵学] 検索 <http://www.ukiyo-e.co.jp> SAKAI_gankow, curator, professional adviser of ukiyo-e 文化藝術懇話会
100-0006東京都千代田区有楽町1-2-14 電話03-3591-4678 Fax03-3591-4678 E-mail: gankow